

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青木村地域おこし協力隊発 観光・移住・定住 PR 事業
事業主体 (連絡先)	青木村 (建設産業課 商工観光係 電話 0268-49-0111)
事業区分	(6)産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,261,217円 (うち支援金: 1,695,000円)

事業内容

青木村の魅力を「地域おこし協力隊」目線で村の良い所を発掘し村民の皆さんに再認識してもらい、その良い部分を協働してプロモーションビデオやトレッキングマップ、国外向けパンフレットなどを地域おこし協力隊の持ち味を活かして作成し発信する。

活動の中で見つけた青木村の魅力をホームページ、フェイスブックで発信してきた。今まで表現することが難しかった部分をビデオ化・イラスト化することで、青木村の魅力を新しい形で発信し村民の皆さんと協働で製作を進めることで、インナーモチベーションの向上を進める。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

トレッキングマップ、ガイドブック、ポストカードは協力隊の持ち味である絵の才能を活かし村民の作品も取り入れたことで、味わいのあるやわらかな印象の作品が出来上がり、思わず手に取りたくなるような印象で、いずれの作品も評判も良好である。プロモーションビデオ作成は、東京都品川区の中学生を農山村体験学習として受入れていることから、お付き合いのある品川ケーブルテレビのディレクター紹介で都内の製作会社に依頼した。映像は村民が中心となって出演し、都市部の人の目線で映像化することで、新たな村の発見と村民には感じ取れない村の良さが伝わってくる。

現在はこの事業による効果は数字として表れてはいないものの、確実に今までより村外へ発信する手段として増えており、他市町村にはない印象で今後村外の皆さんにアピールできていると確信している。



【成果品など】

【目標・ねらい】

- ・トレッキングマップ、ガイドブック、ポストカードは新しい試みとして写真ではなく絵を取り入れインパクトを与えることで、手に取る機会を増やし、村のPR向上を進める。
- ・プロモーションビデオは新しい試みとして製作するだけでなく、外から見た村を知る都市部の人々が憧れるような映像を作ることで、都市部の住民が村へ観光や移住・定住の目的としてもらう。

※自己評価【 B 】

【理由】

国内外の観光誘客を目的として事業をすすめ、従来の役場職員では表現できなかった方法や目線で予想どおりの成果が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この事業によって出来上がった成果品は、村内の官公庁舎はもとより近隣市町村や県外の友好市町村、銀座 NAGANO などに置き、今までと違った表現で製作したこの成果品で青木村の魅力を伝え誘客を図る。

観光 PR 際には「絵」や「地域おこし協力隊」という新しい目線で作られていることを、PR して一層関心をもってもらえるように情報を発信し誘客につなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある